

活動報告——平成三十年年度

第二回例会 七月七日

・清代北京語の研究資料について

陳暁

◇平成三十年四月二十一日(土)に第

三十七回大会を開催した。大会終了後

総会を開き、平成二十九年度の会務、

会計報告を行った。

第三回例会 九月一日

新沼 雅代

・東南アジア華人と「文化」について

・沈約の「郊」について

董 子華

・金末モンゴル王朝期の文学のあり方について

・心について——耶律楚材と元好問の作品を中

心に 白 蓮杰

・戯単資料からみる天津の遊芸場

鈴木 直子

——平成三十年度例会記録——

第一回例会(大会) 四月二十一日

・敦煌資料にみる唐代の婚礼の俗習

——「下女夫詞」を中心に

伊藤 美重子

第四回例会 十二月八日

・「幫」を用いた文のポライトネス性について

永江 貴子

・中国語学習者の習得状況に関わる要因の探索

安藤 好恵

・物語現在における時間の展開

——日本語と中国語を中心に

橋本 陽介

卒業論文・修士論文題目

平成三十年度三月卒業（六名）

松宮 悠 『三国志演義』における数詞「三」について

岡村 花音 児童雑誌『小朋友』一考察（50年代60年代を中心）

岸部 里穂 仙薬と五味（『神農本草経』における仙薬と

五味の作用について）

長谷川 千晶 日本語の「思う」にあたる中国語表現につい

て

小山 留美子 「食べる、飲む」の意味で使われる中国語の

「用」について

若林 佳奈 張愛玲作品における色彩 青色について

平成三十年度三月修了（五名）

福島 俊子 老舎とキリスト教

—その受容と作品への反映—

高 暢 「俗」への再評価—柳永の艶詞をめぐって

趙 美子 曹丕と曹植—史実と作品をめぐって—

陳 珂瑤 一九二〇年代の中国における「雨」の散文観

と人生観—周作人『雨天的書』と許地山『空

山靈雨』の比較

林 芳超 現代中国語における範圍副詞「只」、「光」、

「僅」に関する考察